

全校6人が民泊体験

自分を見つめた 4日間

人と自然と



吉ヶ沢小の皆さん（前列左から上家萌香さん、芳田愛華さん、芳田美紅さん、瀧篤斗くん、瀧渡巧くん、芳田颯斗くん、後列左から研修コーディネーターでくずまき高原牧場の木村元思さん、八重畑晋先生、小野寺民先生、佐藤晃校長）

全員で決めたスローガン

① 笑顔



緑のパレットを作っているとき笑顔になりました。いろいろな葉を見つけ楽しく探したり作ったりできました。
(3年・芳田愛華さん)
みんなで決めたスローガンは全部守ることができました。みんながいたから、みんなで一生けんめいがんばったからです。これからも前進し今後の活動に生かしたいです。
(5年・芳田美紅さん)

② 挑戦



ほくは、イワナとりでたくさんの命をもらいました。イワナとりでは、努力と挑戦、団結が守られました。
(1年・芳田颯斗くん)
川崎牧場のホームステイで、えさやりやふん取りなど団結してがんばりました。乳しぼりなどにも挑戦できました。
(4年・瀧 篤斗くん)

③ 団結



森の教室づくりで笑顔と団結が守れました。竹を組み立てるときにみんなで団結できたり、自分たちの教室ができあがったとき、心から笑顔になりました。
(3年・上家萌香さん)

④ 努力



野外炊事で、火おこしや野菜をきざむことに挑戦しました。みんなで団結して作ったので笑顔になりました。ここでの経験を秋の食の感謝祭に生かしたいです。
(4年・瀧渡 巧くん)

地域と学校一体のすばらしい取り組み

●今回の宿泊研修は私たちにとっても大きな挑戦になりました。1年生から5年生まで一緒に3泊4日の体験。体験を通して友達との関わり方や命の大切さ、人とのつながり、自然の美しさ、地域の温かさをじっくり学ぶことができました。この4日間で子どもたちは大きく成長しました。今後の輝きを見守っていきます。

吉ヶ沢小学校 八重畑 晋 先生
小野寺 民 先生

●未来のある葛巻の子どもたちが、故郷を知り、故郷を愛し、故郷を伝えることは活力あるまちづくりに必要不可欠です。その体験の場をつくることは私たち大人の役割なのです。地域と学校が一丸となったすばらしい取り組みでした。

くずまき高原牧場 木村 元思 さん

食と命の大切さを学んでほしい

酪農体験を通じて、食と命と仲間の大切さを学んでほしいと思っていました。吉ヶ沢小学校の6人は、みんなで協力して、最後まで頑張りました。このまま素直な子どもに成長してほしいと思います。

これからの生活の中でも、友達が困っているときは手を差し伸べてください。そして、家に帰ったら家族の一員としてひとつでも学んだことを生かしてほしいと思います。

宿泊体験を受け入れた「酪農教育ファーム」認定農家 川崎美由起さん



川崎さんの家族と吉ヶ沢小の6人の児童

4日間でこんな体験をしました

【1日目】くずまき高原牧場で竹やブルーシートなどを使って森の教室づくり。夜は星空観察を楽しんでコテージ「シュクランハウス」に全員で宿泊しました。

【2日目】育成牛の世話を体験した後は風や光などから体験する環境学習。町森林組合の炭窯に移動して炭焼き、イワナのつかみ捕りなどの森林学習で命の大切さを学びました。4・5年生が「シュクランハウス」に宿泊。

【3日目】森のこだま館で豆腐づくり。午後から遠矢場の川崎牧場（川崎美由起さん経営）に6人全員で一泊。牛舎の掃除や餌をやるなど牛の世話を手伝いました。

【4日目】4日間の体験をみんなで振り返って、学んだことなど発表しました。



⑥ 森林学習で炭焼きを体験する児童 ⑦ 自己紹介をして「お世話になります」と、あいさつする児童と「お父さんと呼んでね」と迎える川崎美由起さん ⑧ 川崎さん（左）の牛舎で掃除を手伝う芳田美紅さん（右）と芳田颯斗くん

